

おでかけだより

夏号 NO. 73

2022年7月1日



発行：NPO法人 おでかけサービス杉並 発行責任者：秋山 糸織
〒167-0051 杉並区荻窪5-18-11サニーシティ荻窪103
TEL 03-6425-8584 FAX 03-5397-1755
<http://www7b.biglobe.ne.jp/~npo-odekake/>

理事長退任のご挨拶

樋口 蓉子

おでかけサービス杉並は6月4日に通常総会を終えまして、新たな体制となりました。この度、私は設立以来17年間務めさせていただきました理事長を退任し、次の世代へとバトンタッチを致しました。2005年3月に、これからの超高齢社会には必要となるであろう「移動サービス」を立ち上げ、その後「ゆうゆう館」「杉並区外出支援相談センター・もび〜る」「NEKOの手」「オープンリビング けやきの見える家」と、事業活動を拡げてきました。この間、本当に大勢の方々、諸機関の皆さま方からたくさんのご支援を頂きまして、心より感謝申し上げます。この17年間、“誰もが暮らしやすい杉並のまちを、みんなで力を出し合っつけていきます”を掲げて、その時々々のニーズに応える形で活動の幅を拡げてきました。今後も、新しい感覚で時代に即した事業活動を展開して、“誰もが暮らしやすい杉並のまち”をつくらせてまいります。どうぞ皆さま方のお力を引き続きお貸し頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

新理事長ご挨拶

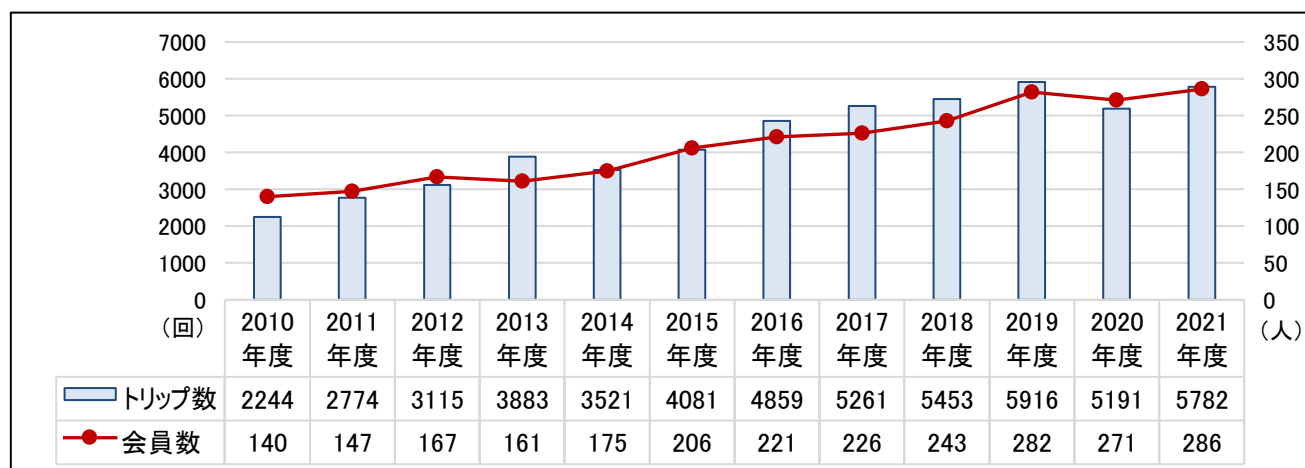
秋山 糸織

法人設立より時が流れ、生活環境・行動様式は大きく変化しました。移動手段や付添いの困りごとは減っておらず、孤立を防ぐ地域の居場所は更に必要性を増しています。

この度、樋口前理事長より引き継ぎ、副理事長、野口恭子・高橋千佳子・鈴木利矢子と共に新しい体制で法人運営に臨むこととなりました。全事業部門が力をあわせ、地域の課題解決に精一杯取り組んで参りますので、今後とも皆様のお力添えをどうぞ宜しくお願い致します。

移動サービスの実績報告

2010年度からの運行回数（トリップ数）と会員数の推移をグラフにしました。昨年度は、コロナの中事故もなく無事目標の5200トリップを達成する事ができました。利用会員の皆さま、運転協力員の皆さまありがとうございました。本年度も引き続きよろしくお願いいたします。



注1) トリップ数は乗車から降車までを1トリップと数えます。往復の利用があった場合には2トリップとなります。

2022年度の抱負

移動サービス

移動サービスは、まず「安全第一」です。そして利用者の皆様が安心して快適に乗車していただけるよう運転協力員ミーティングで情報共有をはかるとともに、今年度は安全運転研修を行い運転技能スキルの向上等をはかっていきます。また、運行回数の増加に確実に対応できるよう電算システムの改善など事務の効率化をさらに進めます。新型コロナ対策は気を緩めずに取り組んでいきますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

ゆうゆう桃井館

ゆうゆう桃井館は、コロナ禍の中では利用者が通常の半数以下に落ち込むこともありました。この4月からはまた徐々に増えてきました。改めてゆうゆう館は「地域の人たちの活動の場、安心して楽しく過ごせる居場所」であることを求められていると感じます。利用者の皆様のお声を聴き、地域の様々な団体と連携を取りながら、具体的なお要望に対応できるように努力したいと思います。若いスタッフも加わりました。フレッシュな雰囲気皆様をお迎えいたします。どうぞご来館ください。

ゆうゆう善福寺館

お陰様で、6月25日に「10周年記念イベント」を無事に終えることが出来ました。町会長さんや講師の方々、いきいきクラブの方々など、人数を絞ってではありましたが、皆様と共に10年を振り返りました。なんと申しまでも2020年に直面しました「新型コロナウイルス感染症」は、これまでの常識を大きく覆しました。コロナ禍だから出来ない、のではなく、「今こそできること」を見つけて積極的にプログラムを組んでまいります。住み慣れた地域での快適空間と人との繋がりを大切にしていきたいと思います。

NEKOの手サービス

今年10年目となる、利用会員の声から生まれたサービスです。会員同士の助け合いをコンセプトに、これまで様々な困りごとに向き合いお手伝いしてきました。掃除や片付け、草むしり、外出の付添い、話し相手、電球交換、書類の整理、などなど。今年度は、更に、サポーターの得意なことを生かし「こんなことができますよ」と、具体的なメニューを示して活動の場を広げていきたいと思っています。また、ネコの手サポーターも常時募集しています。「〇〇なら任せて！」という方、ぜひご連絡ください。

げやきの見える家

2014年10月にオープンした「げやきの見える家」も、この10月には9年目に入ります。コロナで行くところが無くなって、人に会えず、話さずの状態に陥っている高齢者の方々のために、感染対策に留意しながら、コロナ禍でもできるだけ「開けておく」をモットーに、活動します。通常の月1回のイベントはまだ組めませんが、その分、利用者の方々の生活の中からのお話を大事にして丁寧にお聞きしたり、皆さんと共有したりして、楽しい集いの場をつくっていきます。

外出支援相談センター

足の弱い方から「電話でタクシーの予約がとれず、病院に行けるか不安」との相談が続いています。タクシーの配車アプリが普及し、タクシー会社の電話回線の使われ方が変わったこと、稼働台数が減っていることが原因です。高齢者の総合相談窓口・ケア24や杉並区社会福祉協議会と一緒に、「まちの困り事を地域住民と一緒に解決していこう」と動き始めました。皆様の声から今起きていることを把握し、解決策を考えます。今後とも外出の困りごとは“もび～る”まで。どうぞお気軽にお寄せください。

